

2024 年 10 月 2 日

当センター職員の論文が 医学雑誌において優秀論文に認定されました

2023 年に医学雑誌『静脈学』に掲載された原著論文の中から、当センターの奥田奈々恵看護師（リンパ浮腫療法士）と形成外科非常勤医師 大西文夫先生が執筆した以下の論文が、優秀論文に認定されました。

『リンパ管細静脈吻合術をより効果的にする周術期集中排液とセラピストの役割』

【34 巻 3 号 pp.357-362】

奥田奈々恵¹、大西文夫²

¹ 栃木県立がんセンター看護部

² 埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科(栃木県立がんセンター形成外科 非常勤)

本研究は、リンパ浮腫の外科的治療であるリンパ管細静脈吻合術後にリンパ浮腫療法士によるケアを行うことが治療の有効性を高めることを検証した論文です。リンパ管細静脈吻合術と、その術後早期から圧迫療法や運動療法などを行うことは、手術の効果を向上させるために重要な組み合わせです。また、術後にリンパ浮腫療法士が関わることで、患者さんの状態に合わせたケアが行え、手術後の良好な状態を維持するためにも必要な時間となり、患者さんの生活の質を向上させるものになると考えています。

栃木県立がんセンターのリンパ浮腫外来について

当センターは、リンパ浮腫の外科的治療と専門的ケアの両方を有機的・効果的に行える全国でも数少ない施設です。リンパ浮腫外来は、リンパ浮腫に関する知識と高度な専門技術を持った医師と、リンパ浮腫の専門的ケアを学んだリンパ浮腫療法士が担当しています。

▼リンパ浮腫外来の詳細はこちら

<https://www.tochigi-cc.jp/department/01-03-06.html>

<お問い合わせ>

〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南 4-9-13

地方独立行政法人栃木県立がんセンター 広報広聴センター 安部

TEL028-658-5151(代表) 【HP】<https://www.tochigi-cc.jp>

